

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	実務演習 3	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	4年次	科目区分	選択	時間数	150時間
単位数	5単位			授業形態	実習
教科書/教材	オリエンテーション等、必要に応じて配布				
担当教員情報					
担当教員	法川 克弘 他	実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士		
学習目的					
<p>この科目は、自己の卒業後の進路において必要と思われるスキルを身に付けるため、インターンシップに代わるスキルアップとして位置づける。学生は各自、卒業後の業種に必要なスキルを洗い出し、与えられた時間の中でそのスキルをどうすれば身に付けられるかの計画を立てる。そして教員と打ち合わせをして計画し、実践する。最終的に本人のスキル到達度を、報告会によりプレゼンテーションする。</p> <p>スキルの例：BIM・デジタルデザイン、建築関連資格、公務員試験対策、建築設計競技、英会話スキル、他（各自で発案）</p>					
到達目標					
<p>スキルアップは自己啓発活動であり、自らが動かなければ向上することは難しい。そこで、まず計画を策定し実践してみる。その後、何度が計画修正しながらも最終ゴールを目指して進む。試行錯誤の過程が重要であり、最終到達点は変わるにせよ、自己の設定した目標に到達させることが大事である。</p>					
教育方法等					
授業概要	自己の卒業後の進路に向けて必要と思われるスキルを各自で調査し、身に付けるための計画書を提出し、実際に活動する。またその到達度を確認するため、報告書に基づいた面談を数回行い、最終的には発表会でスキル到達度をプレゼンテーションする。				
注意点	学生個人の自発的な活動が必要となるため、自身の将来をしっかりと見つめなおし、自身の自己啓発活動を行う計画を立て、計画通りに実践する。また、計画に無理が生じた場合は計画変更を行い、しっかりと遂行できるよう自己管理を行うこと。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題				
	小テスト				
	レポート	70%	調査内容をレポートによって評価する		
	平常点	10%	積極的な進捗報告、授業態度によって評価する		
	発表	20%	レポート内容に基づく発表によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス・内容の検討(1)	自己の将来の進路に必要なスキルを洗い出す			
2回	内容の検討(2)、発表	必要なスキルを身に付けるための計画書を作成し発表する			
3回	内容の検討(3)	計画書に行程表を添付し、内容の詳細を詰める			
4回	スキルアップ ワーク(1)	スキル向上のための活動を行う			
5回	スキルアップ ワーク(2)	スキル向上のための活動を行う/教員と面談を行う			
6回	スキルアップ ワーク(3)	スキル向上のための活動を行う			
7回	スキルアップ ワーク(4)	スキル向上のための活動を行う/教員と面談を行う			
8回	スキルアップ計画書 見直し	4回の活動を経て必要に応じ計画の見直しを行い今後の活動に役立てる			
9回	スキルアップ ワーク(5)	スキル向上のための活動を行う			
10回	スキルアップ ワーク(6)	スキル向上のための活動を行う			
11回	中間報告会	分野ごとに中間報告会にて取組内容を確認しあう			
12回	スキルアップ ワーク(7)	スキル向上のための活動を行う			
13回	スキルアップ ワーク(8)	スキル向上のための活動を行う			
14回	スキルアップ ワーク(9)	スキル向上のための活動を行う/教員と面談を行う			
15回	スキルアップ ワーク(10)	スキル向上のための活動を行う			
授業計画（16回～20回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
16回	スキルアップ ワーク(10)	スキル向上のための活動を行う/教員と面談を行い最終的な到達目標を再確認する			
17回	スキルアップ ワーク(11)	スキル向上のための活動を行う			
18回	スキルアップ ワーク(12)	スキル向上のための活動を終了する			
19回	報告会準備	報告会において自己の到達度を発表するための準備			
20回	最終報告会	各自の取り組み成果について報告を行い達成度を確認する			